

 シリーズ「きょうだいの思い出」 27

ダンプカー②

後に、事故の瞬間を見ていた人が警察に通報してくれたようで、事故の原因は弟が全面的に悪い訳ではないことがわかった。  
弟が赤信号を飛び出したことが腑に落ちず、弟の行動を知り尽くしている母が抱いた疑問は正解だった。

お礼の気持ちを伝えるために通報してくれた人の連絡先を教えて欲しいと警察官に懇願したが、当然ながらその願いは叶わなかった。  
母は、心底から湧き出るような感謝の言葉の伝言を警察官にお願いした。  
こういう事故や、何かの事件に遭った時に、弟のような知的障がいを持つ人は本当に不利なのだと感じた。  
物言えぬ相手だとわかって、事実と異なることを言うダンプカーの運転手は酷いと思ったが、でも一方では通報してくれた人もいて、「やっぱり世間って、こうなってる」と感じたことを覚えている。

事故後の半年から一年程の間、車の助手席に座る弟は、ダンプカーが横を通ると嫌そうな顔で目をギュッと閉じて顔を背けることが続いた。  
「ダンプカー、アッ、アブナイ！」  
「ジテンシャ、ガチャン！ タイヤ、クルクルクル」  
ダンプカーに巻き込まれて引きずられる時に、目に映ったタイヤの回転を「クルクルクル」と表現しているのだろうか...。  
おそらく「死ぬ」「怖い」という言葉の概念がない弟にとっては「アブナイ！」という表現になるのだろう。

そして、これだけの事故に遭って、弟にとっては自分の痛めた体よりも何よりも、気になって気になって、もう本当に気になって仕方のないことがあった。

～つづく～

前穂通信 まええほ つうしん

発行日	2014年2月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



 インフルエンザ・感染症が流行しております！

インフルエンザ、またノロウイルスによる感染症が猛威を振るい、学校などで学級閉鎖も出ていますと聞いております。  
前穂のショートでは感染予防に大変な努力を払っております。プラズマクラスターによる空気清浄をはじめ、手洗いやアルコールでの消毒、また、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒などによる予防に努めております。  
寒さ厳しき折、ご家庭でも御苦労されていることとは存じますが、どうぞ皆様、体調管理等ご注意頂きますよう、宜しくお願い致します。

 高槻ハーフマラソン報告

1月19日(日) 高槻ハーフマラソンへ2名のゲストが参加され、無事完走致しました。  
寒い気温の中での参加ではありましたが、途中歩きながらも元気よく完走されました。その後は、イタリアンレストランでのランチを召し上がり、それぞれ帰途につかれました。  
来年も頑張りましょう。お疲れ様でした！